



2021N-ONE ファンファンカップ

〈Fun&Run meeting with HondaStyle は、コロナ感染防止対策を実施の上、開催いたします。〉

N-ONE ファンファンカップ規則書（第3版）

（下線は第2版からの改訂部分）

大会趣旨

N-ONE ファンファンカップは軽自動車 Honda N-ONE を用い、全ての参加者が笑顔でモータースポーツを楽しめること目標に開催される耐久走行です。未経験の方へもモータースポーツの楽しさを体験いただきたいため、参入のハードルを可能な限り下げたイベントといたしました。笑顔でいるためには、安全を最優先にモータースポーツを愛する仲間が楽しく集う場が重要です。

よって、勝負にこだわる・マナーが悪い・イベント主旨を理解できない方、参加者同士のリスペクトを持ってない方の参加は認められません。

参加者全員、スタッフ全員でモータースポーツの楽しさを体験できる、分かち合えるイベント「N-ONE ファンファンカップ」を作りましょう。

実施概要

名称	: N-ONE ファンファンカップ（非公認競技）
日程	: 2021年6月6日(日) 練習走行という予選・耐久と呼ぶ決勝
開催地	: 袖ヶ浦フォレストレースウェイ（2,436m）
耐久走行	: Honda N-ONE による 120 分耐久走行
主催者	: FUN&RUN MEETING with Honda Style 運営委員会
後援	: HondaStyle 編集部

出走台数

25 チーム（参加受付チーム数も同様）

参加者

参加者代表 : 20 歳以上。参加者代表者は本大会参加において標準的な判断能力を持ち、チーム参加者の行動に全責任を持てること。（ドライバー兼務可能）1 名

- ドライバー : 18 歳以上、当日有効な普通自動車運転免許を所持し、運転者は当該サーキットにおいて N-ONE サーキット仕様車を標準的な能力を持って運転出来ること。 2 名～ 4 名
- クルー : 参加者代表に指名され、18 歳以上であること。最大 4 名

- ・参加者は傷害保険に加入するため必要な情報を 5 月 24 日までに提出しなくてはならない。
- ・参加者は大会指定の書式に則り、参加誓約書内容を理解し、署名しなくてはならない。
- ・20 歳未満の参加者の親権者(保護者)は、参加誓約書内容を理解し、署名しなくてはならない。
- ・全ての参加者は上記誓約書および本大会の主旨に従い、明朗かつ公正に行動し、言動を慎み、スポーツマンシップの則ったマナーを保たなくてはならない。
- ・全ての参加者は他の参加者、本大会関係者の名誉を傷つけるような言動を取ってはならない。
- ・フリーティングには参加者代表、登録されたドライバー全員が参加しなくてはならない。

参加申込

- 申込期間 : 4 月 11 日(月)～5 月 24 日(月)24:00
- 申込先 : FUN&RUN MEETING with Honda Style 参加申込サイト
https://www.ms-event.net/hseweb/user/?a=race.race_entry_list
 お申込みは参加者代表者が行ってください。
- 参加料金 : 56,000 円 (税込み) / 1 チーム(ドライバー2 名分)
 : 追加ドライバー登録 11,000 円 (税込み) / 1 名
 ※会場入場の際し、全ての参加者は入場料 1,200 円が別途必要となります。

参加受理と参加拒否 :

参加申込に際し、参加者代表、ドライバー、クルーが参加資格を有しないと認められる場合 FUN&RUN MEETING with Honda Style 運営委員会事務局は、その理由を示すことなく選択あるいは拒否することができる。

参加車両

Honda N-ONE JG1/JG3 (FF・ターボ付車両) 1 チーム 2 台まで登録できる。

- ロールケージ : JAF 車両規則に準じた 6 点以上のロールケージを装着していること。
- バケットシート : 保安基準に適合したバケットシート・シートレールを装着していること。
- シートベルト : 4 点式シートベルトを装着していること。
- 牽引フック : JAF 車両規則に準じた牽引フックまたは純正の牽引フックを装着していること。牽引フックは車両の前後に 1 ヶづつ装着されていること。
- タイヤ : ラベリング制度で低燃費タイヤに認定された銘柄で純正サイズ。
- ホイール : 5J (インセットは +45mm 以上)
- サスペンション : 自由
- ブレーキ : ブレーキパッド、シュー、ホース 自由
- 油脂類 : 自由
 ※その他の改造は認められない。但し N-ONE OWNER'S CUP で認められている範囲、部品は除く。
- 最低車高 : 100mm 以上
- 競技番号 : 3 桁以内の番号。車両の前後、左右に明記されていること。

2 台目の登録車両は、1 台目とゼッケン番号が異なってもかまわない。その場合、参加車両名の最初に 2 台目車両のゼッケンナンバー # ○○○を追加すること。

車両名 : 上記番号を含み、15 文字以内

保安基準への適合 : 走行中参加車両はいつも保安基準に適合していること。
(走行中の牽引フックを除く)

参加車両はサーキット外を走行する場合は保安基準に適合した状態を保つこと。

服装 (装備品)

①ヘルメットはフルフェイスであること。

②木綿製または耐火炎性の高い長袖、長ズボン、皮膚の露出のないのつなぎ形状の服装
(レーシングスーツ推奨)

③皮膚の露出しない耐火炎性または皮製のグローブ (レーシンググローブ推奨)

④活動的な運動靴等のシューズ (レーシングシューズ推奨)

以下のアイテムの使用、装着を推奨します。

・FHR (HANS) システム

・バラクラバおよびアンダーウェア ※木綿製または耐火炎仕様

※ドライバー装備品は自分の身体の安全を高めるものです。JAF/FIA 公認またはそれに準ずる規格の装着、使用を強く推奨します。安全性確保を十分に考慮したものを使用して下さい。

クルー : 作業に適した服装であること。

燃料補給

練習走行以降の燃料給油は認められない。

車検後、全ての参加車両は指定給油スタンドで、給油を受ける。

給油前に車両はガソリン量がメーターひとメモリ以上減った状態にすること。

ガソリン給油機が自動で停止した時点 (2 回給油を行う。一度自動停止後、5 秒後に再給油し、再び自動停止した時点) で満タンと見做し、封印を行う。以降の給油は禁止する。給油ガソリン代は決勝終了までに大会事務局で現金精算を行うこと。

練習走行とスターティンググリッド

練習走行時間は 30 分間とする。各チームは練習走行時間中に 16Lap 以上 (OUT/IN Lap 含む)の周回をこなす必要がある。また、登録されたドライバーは最低 3Lap 以上 (OUT/IN Lap 含む)走行のこと。複数台登録チームが同時にコースインすることは認められない。各チームに 1 つのトランスポンダが配布される。車両を変更する場合は、トランスポンダを積み替えなくてはならない。

耐久のスタート順は練習走行時に記録されたタイム順とする。規定周回数に届かない場合はペナルティーの対象となる。

スタート

①耐久スタート方式はローリング式とする。

②決められた時間までに練習走行のタイム順にピットレーンに整列する。

③セーフティーカーを先頭として PIT アウトし、隊列を保ったまま 2 周の後、耐久が開始される。※セーフティーカーは 2 周目の 9 コーナーでランプを消灯し、ピットインする。

④9 コーナー以降は先頭車両がペースを作り走行し、コントロールラインを通過した時点で120 分間の耐久がスタートされる。コントロールライン通過まで前走車を追い越すことは出来ない。但し、前走車が何らかのトラブルにより10 台分(約 40m)車間を空けた場合はその限りではない。

⑤何らかの理由によりセーフティカーは2 周以上コース上隊列を先導する場合がある。その場合はセーフティカールールが適用される。但し、④に従い先頭車両がコントロールラインを通過した時点で耐久はスタートされる。

耐久の中断

事故によってコース上が閉鎖されたり、天候またはその他の理由で走行を継続することが危険と判断した場合は、赤旗を提示する。(ピット出口は閉鎖される)

中断の合図がだされたら追い越しは禁止され、全車両は徐行し、ピットインする。

ピットインした順番を保ち、ファストピットレーン上に35 番ピット前を先頭に停車する。

ピットイン中の車両はその作業終了後、この隊列に加わることが出来る。

走行中断中も計時システムは停止することはない。

走行中断前にピットレーンに進入した車両はドライバー交代、車両の交換、認められた作業を行うことが出来る。中断に伴い(赤旗提示後)ピットレーンに進入した車両のドライバー交代、車両交換、ピット作業は認められない。

耐久の再開

①走行の再開は場内放送により3 分前が告知される。

②ファストピットレーンに並んだ順番でセーフティカーの先導でコースインをする。

③隊列を保ったまま2 周の後、走行が開始される。※セーフティカーは2 周目の9 コーナーでランプを消灯し、ピットインする。

④9 コーナー以降は先頭車両がペースを作り走行し、コントロールラインを通過した時点で耐久走行が再開される。コントロールライン通過まで前走車を追い越すことは出来ない。但し、前走車が何らかのトラブルにより10 台分(約 40m)車間を空けた場合はその限りではない。

⑤何らかの理由によりセーフティカーは2 周以上コース上隊列を先導する場合がある。その場合はセーフティカールールが適用される。

セーフティカー

セーフティカーを使用する場合がある。セーフティカーは、ドライバーまたはオフィシャルが危険な状況にあるが、走行を中断するほどではない場合に使用される。その際の運用方法は別途定める。

ピットイン

①耐久中、3 回以上のピットインが義務づけられる。

②ピットレーン入り口でオフィシャルよりピットイン時間および車番を記入した伝票を受け取る。

③ドライバーの交代、車両の交換、作業は指定のピットボックスで行うこと。他の場所での作業は認められない。

④ピットイン時に受け取った伝票はピット出口のオフィシャルに渡すこと。

ピット入口と出口のオフィシャルの前では必ず一時停止をすること。

⑤ピット滞留時間について：いかなる理由(赤旗、ペナルティー消化を除く)でもピットイン時は以下の時間のピット滞留時間が課せられる。

車両 1 台登録チーム：3 分間

車両 2 台登録チーム：5 分間

- ⑥ピットイン時許される作業：ドライバー交代、車両交換、タイヤ交換
- ⑦ピットレーン、サインエリアには登録された参加者代表、ドライバー、クルー以外のものは出ることは認められない。
- ⑧ピットレーンのスピードは 30km/h 以下。

耐久の終了

- ①耐久はスタート後、120 分が経過した時点で先頭車両に対しチェッカーフラッグが振られる。
 - ②チェッカーフラッグは 5 分間振られる。その間にコントロールラインを通過した車両の周回数が認定される。
- チェッカー後は、クールダウンラップの後、各自の指定ピットに戻り車両保管となる。

抗議

いかなる抗議も認められない。

罰則の適用

違反チームに適用される罰則は以下の通り

奉仕活動

競技結果に、①時間の加算 ②周回数の減算

競技途中のペナルティー ③ドライビングスルーペナルティー ④ピットストップペナルティー

⑤ピットストップ時間の延長